

アクティオのビルメンテナンス AI 清掃ロボット「Whiz」のレンタルを開始！！

株式会社アクティオ

株式会社アクティオ(本社：東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO：小沼直人)は、ソフトバンクロボティクス株式会社が開発・提供するオフィスや業務フロア向けの AI 清掃ロボット「Whiz」の申し込み受け付けを2019年4月10日(水)に開始し、6月以降にレンタルを開始します。



©SoftBank Robotics

政府の「ロボット新戦略」において清掃などのロボット化が求められているなか、3.8兆円市場、100万人雇用と言われるビルメンテナンス業では、人手不足・高齢化対策が喫緊の経営課題となっています。しかし、現状ではロボットの導入実績は限られており、具体的な導入方法を検討するための環境や、学習教材、操作体験が行える場も十分に整備されているとは言えない状況にあります。こうしたニーズを受けて弊社では、「日本ビルメンロボット協議会」*1と連携し、ビルメンテナンスロボットの導入を検討されている企業様に向けて、これまで多種多様な業務用清掃ロボットのレンタル*2を行ってきました。

今回、当社は「Whiz」のレンタルを開始、最短で1ヵ月からのレンタルが可能となります。

*1 ビルメンテナンス分野におけるロボットの普及促進を目的とし、業務用清掃・検査ロボットメーカーなど関連企業・団体が構成した協議会

*2 アクティオのコンセプトである「レンタル」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語

■「Whiz」の特長

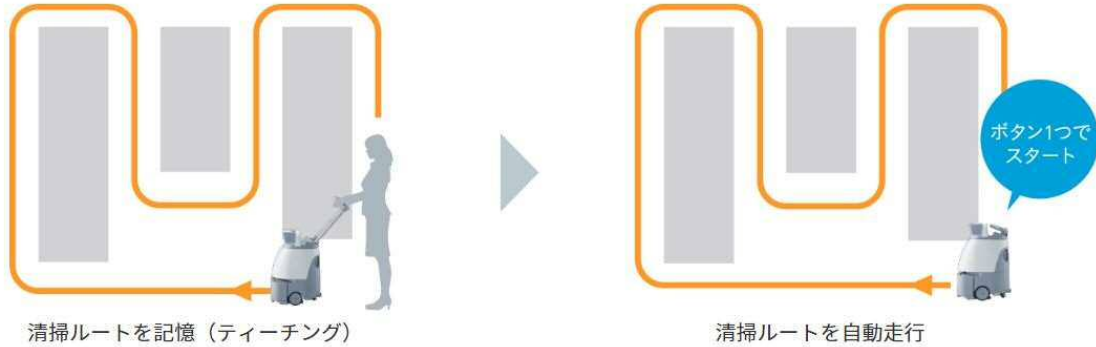
- ①導入も使い方もかんたん 清掃したいルートを手押しでティーチングするだけで設定可能
- ②スマート AI 清掃 周囲の環境に応じてルート判断可能な柔軟性の高い自動清掃
- ③最高ランクの清掃効率 1時間最大 500m²、最大約3時間稼働で 1,500m²の清掃が可能
- ④かんたん管理 スマホや PC で稼働状況の確認が可能

■最先端の独自 AI で、自在の自律清掃

導入も使い方もかんたん

清掃したいルートを手押しでティーチングします。

2回目以降はスタートボタンを押すだけで記憶したルートを自動清掃します。複数ルートの記憶も可能です。



©SoftBank Robotics

スマートAI清掃

複数のセンサーで走行ルート上の障害物や段差、人の動きを検知し、状況に応じた回避や一時停止を行います。壁際までしっかり清掃してくれます。



©SoftBank Robotics

最高ランクの清掃効率

1時間最大500m²、最大約3時間稼働で1,500m²をカバー、更にバッテリー交換をすればより広い規模の清掃現場にも対応します。



かんたん連携

稼働情報はアプリや管理サイトからいつでも確認可能です。緊急停止時や走行不能時はアラートをお知らせプザーやアプリに通知します。



消耗品 ・ゴミ捨てが簡単な紙パック ・着脱可能なバッテリー ・HEPA フィルター ・ブラシ

■「Whiz」の仕様



本体サイズ(ハンドル収納時)	約474mm x 455mm x 653mm (幅×全長×全高)
本体重量 (バッテリー含まない)	約30kg
清掃能力	約500m ² /時間
連続稼働時間	約3時間 (ノーマルモード) 約2時間 (パワーモード)
走行速度	最高2.5km/h
集塵容積	4.0L (紙パック)
バッテリー	リチウムイオンバッテリー、約5kg、23.7Ah、25.2V
充電時間	約4時間
充電器電源	100-240V AC
充電器定格出力電圧	29.4V/8A x 2
安全機能	障害物検知/落下防止 (LiDARセンサー、3Dカメラ) 衝撃検知 (センサー搭載バンパー) 異常検知 (段差センサー、車輪浮き検知センサー、異常時ブレーキ機能)
アラート機能	お知らせブザー (本体付属、取り外し可能) およびスマートフォンアプリ (iOS/Android)
付属品	バッテリー、充電器、お知らせブザー、HEPAフィルター、紙パック、ブラシ

・自動走行用のAIにBrainOSを使用。ソフトバンクロボティクスはBrainOSの日本における総販売元です。

・ご利用の環境により異なる場合があります。

・Whiz、AI清掃PROはソフトバンクロボティクスの商標です。

・BrainOSはBrain Corpの商標です。

・仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

■ アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでな

く、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】[http:// www.aktio.co.jp/](http://www.aktio.co.jp/)

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 新規事業開発部 ロボット事業推進課 担当：上瀧

TEL:03-6262-7497